

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【公表番号】特表2004-510162(P2004-510162A)
 【公表日】平成16年4月2日(2004.4.2)
 【年通号数】公開・登録公報2004-013
 【出願番号】特願2002-530645(P2002-530645)
 【国際特許分類第7版】

G 0 1 N 33/531
 // G 0 1 N 30/88
 G 0 1 N 33/566

【F I】

G 0 1 N 33/531 A
 G 0 1 N 30/88 J
 G 0 1 N 33/566

【手続補正書】

【提出日】平成15年4月9日(2003.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結合体が5 kD～500 kDの分子量の生体分子および親水性リンカー分子からなり、リンカーが1 kD～15 kDの分子量、4～60個の荷電した残基を有してなり、

a) 生体分子およびリンカー分子が互いに共有結合され、

b) 化学量論が均一である異なる生体分子-リンカー産物がクロマトグラフィーによって分画され、

c) 化学量論が均一であるカップリング産物を含んでなる画分が収集される、

ことに特徴を有する、化学量論が均一である少なくとも1つの生体分子-リンカー産物を予め選択された量で含んでなる結合体の生成のためのプロセス。

【請求項2】

リンカーがペプチド骨格を含んでなることにさらに特徴を有する請求項1記載のプロセス。

【請求項3】

生体分子がポリペプチドであることにさらに特徴を有する請求項1または2記載のプロセス。

【請求項4】

請求項1～3いずれかに従って生成された結合体。

【請求項5】

緩衝成分、安定化剤、および請求項1～3いずれかに従って生成された結合体を含んでなる試薬組成物。

【請求項6】

適切な緩衝剤および試薬および少なくとも1つの請求項5記載の試薬組成物を含んでなる、サンプル中の被検体の生化学的または免疫学的検出用のテストキット。

【請求項7】

免疫アッセイにおける請求項1～3いずれか記載の結合体または請求項5記載の試薬組成

物の使用。